

【開会 午後 1 時 3 0 分】

1 開 会

2 競輪事業部長挨拶

○伊与部部長 皆様，こんにちは。函館市競輪事業部長の伊与部でございます。函館市競輪運営協議会の開催にあたりまして，一言，ご挨拶を申し上げます。

本日は，大変お忙しい中，ご出席をいただきまして，誠にありがとうございます。また，日頃より，市営函館競輪の運営にご理解とご協力をいただき，心より感謝を申し上げます。

先日，道南においてもコロナウイルスの感染者が発生したと報道がありました。当競輪場においても消毒液を設置し，手洗いやうがいの推奨，感染防止のための啓発ポスターを場内に掲示し，注意喚起を促している状況であります。

さて，昨今の競輪界は，GⅠ，GⅡをはじめとしたビッグレースの低調傾向は依然継続しておりますが，先般，発表された昨年の1月から12月までの全国の売上集計によりますと，対前年比で103.7%となる，約6,734億3,300万円を売り上げ，6年連続で前年を上回ったところであります。令和元年度の函館競輪については，6月にGⅢグレードの函館記念競輪を開催し，多くの競輪ファンにご来場いただくことができました。

また，4月より，これまで行っていたナイター競輪より更に遅い時間に行われるミッドナイト競輪を新たに始めまして，売上は好調でございました。従来から行っているナイター競輪につきましても，今年度は例年より競合が少なかったことから，全国の売場に函館競輪を多く発売いただくことができ，こちらも売上が好調でございました。

これらの要因により，当初予算を大幅に上回る売上を計上する見込みとなり，払戻金等の経費に不足が生じる見込みとなったことから，第1回運営協議会でもお知らせしましたとおり，昨年9月11日付で弾力条

項を適用し、売上予算を当初予算の152億円から27億円増の179億円といたしました。

しかしながら、その後、9月21日から開催した第11回後節において、台風17号の影響により、最終日の第1レースから第6レースまでを中止したこと、また、10月3日、4日に発生した車券発売システムの全国的なシステム障害により、10月4日から開催であった第12回前節の全ての日程を中止したこと等の要因により、弾力条項適用後の売上見込みであった179億円には届かず、結果的には約165億円となり、当初予算対比では約13億円の増となりました。

令和2年度におきましても、競輪事業部一丸となって積極的に事業展開したいと考えており、その一環として、5月にGⅢグレードの函館記念競輪をナイターで開催するほか、8月には「HAKODATE☆ミリオンナイトカップ」と称して、GⅢグレードのナイターをもう1本、開催することが決定したところです。

こうした話題性の高いレースも活かしながら、北海道で唯一の競輪場を将来にわたって継続することができるよう、今後とも努力してまいりますので、皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

本日は、限られた時間ではございますが、よろしくお願いいたします。

3 協議事項

(7) 令和元年度自転車競走事業特別会計補正予算（案）について

（資料1～5ページに基づき米谷事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか。

（各委員：特になし）

(1) 令和2年度函館競輪上期開催日程（案）について

（資料6ページに基づき米谷事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか。

(各委員：特になし)

(ウ) 令和2年度自転車競走事業特別会計予算(案)について

(資料7～11ページに基づき米谷事業課長から説明)

○今井会長 質問等ないか。

(各委員：特になし)

(I) その他

○今井会長 事務局，委員から何かあるか。

○米谷事業課長 現在，日本トーター株式会社と締結している包括委託契約が令和2年度で終了する。令和3年度以降の次期包括委託に係る協議のため，来年度は，本協議会の開催数を例年の2回から3回へ増やしたいと考えている。ご了承願いたい。

○穴田委員 令和3年度以降は，これまで通り民間企業へ包括委託するのか，それともミッドナイト競輪等で得た利益を基に，自前で運営を行うのか。

○米谷事業課長 これまで通り，民間企業と包括委託契約を結びたいと考えている。

○穴田委員 業者の選定委員には誰が選ばれるのか。

○伊与部部長 現時点ではまだ決まっていない。

○穴田委員 最も安く請負える業者を選ぶのか。

○伊与部部長 提示された金額の多寡だけで選ぶわけではなく，提案を総合的に評価して決定する。

○穴田委員 募集の仕方はどうするのか。

○伊与部部長 公募型プロポーザルで行う。実際に公募を行う前には，募集要項等を作成するが，その案は当協議会に諮り，事前に承認を頂くことになる。

○穴田委員 令和2年度自転車競走事業特別会計予算(案)の諸収入，雑入を見ると，前年度予算と比較し，サテライト松風がプラス，その他のサテライト札幌，石狩，男鹿はマイナスとなっているが，どういう意味か。

- 米谷課長 本市は、各サテライトの管理施行者という立場であり、各サテライトの売上の一定割合を業務代行協力費として頂いている。その金額の前年比見込みを表している。
- 穴田委員 サテライト松風は函館競輪の専用場外であり、函館本場の場外発売と同じ開催しか車券を販売することができない。以前から時折提案しているが、サテライト松風も、その他のサテライトと同様に発売の縛りを外し、自由に営業活動を行わせた方が、利益も増え、結果的に函館市に貢献するのではないかと思うが、それらに係る過去の経緯を教えて欲しい。
- 伊与部部長 過去の経緯については、即答することができないため、調査したうえで、別途、回答したい。
- 穴田委員 昨年10月に発生した大規模システム障害による開催中止の損害賠償はJKAからあったのか。
- 伊与部部長 現在、システム障害の原因は特定されているが、各施行者の損害がどの範囲まで補償されるかについては確定していない。少しお時間は頂くと思うが、補償額が確定次第、別途、報告したい。
- 今井会長 質問等ないか。
(各委員：特になし)

=以上をもって終了=